

「教師不足」に対する
今後の展望について

戸田市教育委員会
学務課

やさしいまちに、なりたい。

「教師不足」の現状

【「教師不足」とは】

臨時的任用教員等の講師の確保ができず、実際に学校に配置されている教師の数が、各都道府県・指定都市等の教育委員会において学校に配置することとしている配当数を満たしておらず欠員が生じる状態

【令和3年度の全国的な状況(※1)】

〇令和3年度始業日時点の小・中学校の「教師不足」人数は合計2,086人、令和3年5月1日時点では1,701人

〇小学校で、学級担任がいないという状況を避けるため、担任ではない職務の教師が担任を代替しているケースは474件

〇中学校で、当該教科の必要な授業を行えていない例は、令和3年5月1日時点で16校

※1 文部科学省「教師不足」に関する実態調査（令和4年1月31日公表）より一部抜粋

「教師不足」の要因

【「教師不足」の要因】（都道府県等教育委員会へのアンケート結果）

〇産休・育休者数の増加

→近年の採用者数増による子育て世代の増加

〇病休者数の増加

〇特別支援学級数の増加

〇採用者数の増加

→臨任登録者が正規採用に（登録者の減少）

【教員採用選考の倍率の低下】

小学校１．９倍（昨年２．４倍）

中学校４．０倍（昨年４．０倍）　　※志願状況

本市の「教師不足」の現状

【本市の令和4年11月1日現在の不足数】

小学校：病代1名、産代2名、加配2名　　計5名
中学校：病代1名、産代1名　　計2名

【臨時的任用教員等を確保できない要因】

年度当初

〇他市町での勤務を希望
〇教職員定数が学級編制基準日（4月1日）まで定まらない。
〇急遽の辞退（教員免許が取得できない、別の就職先へ等）
〇本採用者の急な退職

年度途中

〇臨任の希望者が残っていない

臨時的任用教員の確保に向けて

【本市の取組等】

〇戸田市学校インターン
　　次世代長期教員養成プログラム「TEST」
〇共栄大学学生ボランティア
〇埼玉大学学校フィールドスタディの受入
〇TFJとの連携
〇戸田市の教育の魅力などの情報発信（SNS等）
〇次年度の募集を各大学に送付
〇県教育委員会や大学等からの情報収集
〇県教育委員会に臨時免許発行の依頼
〇臨任希望者との面接でのPR（教育環境や業務改善等）

優れた教員の確保に向けて

【国や県の対応】

採用選考試験の早期化・複線化検討（2024年度を目指して）

【現在の一般的なスケジュール】

7月	8月	9～10月
筆記試験	面接	合格発表・採用内定

※民間企業や地方公務員の採用試験のほうが早く行われる

彩の国かがやき教師塾　（県内小中学校教員志願者）

	ベーシックコース	マスターコース
時期	令和4年7月～令和5年10月	令和5年1月～令和6年1月
対象	大学2年生等200名程度	大学3年生等80名
内容	学校におけるボランティア活動	学校体験実習、講演講義演習 体験活動

ベーシックコース：芦原小、戸田中、新曽中にて計3名が実施
マスターコースは現在、県教育委員会に申請中

特別免許制度の活用

【教員免許制度の概要】

普通免許状

〇専修免許

〇一種免許状

〇二種免許状

臨時免許状

・普通免許保持者を採用することができない場合

・例外的に「助教諭」を授与

特別免許状

優れた知識経験を
有する社会人

↓

教育職員検定・合格

↓

免許状授与・学校現場へ

特別免許状発行数の推移

発行数	令和元年	令和2年	令和3年
全国（※1）	227	237	未掲載
埼玉県	13	18	25

埼玉県・発行数・内訳		令和2年度	令和3年度
小学校	公立	0	0
	私立	0	1
中学校	公立	1	3
	私立	4	6
高等学校	公立	6	5
	私立	6	8
特別支援学校	公立	1	2
発行数合計		18	25

※1　https://www.mext.go.jp/content/20210514-mxt_kyoikujinzai02-000014888_4.pdf